

# 広島

## 「ビジョン持ち挑戦を」

### 中区でセミナー NPO立ち上げ紹介

陽だまりの活動やエピソードを紹介する市川さん(奥)―中区の職会館で



地域の助け合い活動を行う団体の立ち上げや運営などについて学ぶセミナーが31日、中区の職会館であった。

NPO法人の運営者など12人が集まり、東広島市を拠点に高齢者介護や子育て支援をしているNPO法人「陽だまり」代表の市川マヤさん(46)の講演などに聞き入った。

セミナーはNPO法人の運営のサポートなどを行っている「ひろしまNPOセンター」(中区)が主催した。講演では市川さんがN

P O 法人の立ち上げから現在に至るまでの経緯や苦労話などを、スライドを使って分かりやすく紹介した。

市川さんは茨城県出身で、東京都葛飾区役所職員などを経て、結婚を機に東広島市に移り住んだ。子育てをしながら「何か社会に役に立つことがしたい」と、2000年10月に仲間と共に任意団体「陽だまり」を設立。

通院や家事などで生活に困り事がある高齢者らと、ボランティアをコーディネートする事業を始めた。03年6月にNPO法人化し、事業を拡大。現在はスタッフ9人が訪問介護や放課後学童保育

などの事業を営んでいる。

市川さんは事業拡大の際、資金調達を県共同募金会助成金で賄ったことや、テレビ出演をきっかけに新たな支援者と巡り会えたエピソードなどを紹介。N

P O 法人運営のポイントに、「自分たちに無いものを持っている人を味方に付けること。ビジョンをしっかりと持ち、実現のために挑戦し続けることが大切だ」と挙げた。

【目野創】